

宮地小だより

「み」みんななかよく 「や」 やりとげよう最後まで 「じ」 自分からすすんでがんばる宮地っ子

6月
文責
八代市立宮地小学校
校長 嶋村 立馬

子どもたちの見守り、ありがとうございます!!

新学期が始まって2ヶ月が経ちます。今年度は梅雨入りが例年より早く、未明から強い雨が降る日が続いています。天候の急な変化に気を張る毎日です。先日、大雨等への対応についての文書を学校よりお配りしました。子どもたちの登校や下校については、子どもたちの安全に配慮しながら、ご家庭と連携した対応を図っていく必要があると思います。保護者の皆様、ご協力の程、よろしくお願い致します。

保護者の皆様が、登校時の子どもたちの見守りのため、危険箇所には立っていただいていること、とてもありがたく思っております。また、地域の方々も毎朝、横断歩道ごとに子どもたちを見守っていただいております。おかげで子どもたちも安心して登校することができています。本当にありがとうございます。先日、登校の様子を見ておられた



方が、「ほとんどの子どもたちが、横断歩道を渡った後に、見守りの方や止まっていたいただいた運転手の方に、『ありがとうございます』と頭を下げていることがすごいですね」とおっしゃっていました。私も同じ思いです。きっとこれまで卒業していった先輩たちから引き継がれてきた宮地小学校の伝統だと思います。とてもすてきで、素晴らしい伝統ですね。子どもたちには機会を見つけて、今みんながやっていることはとても素晴らしいことなんだと伝えていきたいと思います。そして、保護者のみなさんと地域のみなさんとともに、宮地小学校の子どもたちのよさを伸ばしていけたらと願っています。

ひび割れた水がめ ～全校集会の講話より～

先日、全校集会が行われました。今年度、初めての全校集会でした。オンラインでの開催でしたが、今回は「ひび割れた水がめ」の話をしました。話の概略は、下記の通りです。

昔、おばあさんの家に、水を漏らさない水がめとひび割れた水がめがありました。ひび割れた水がめからは水が漏れ、家に着く頃には、半分近くの水が漏れていました。ある日、ひび割れた水がめがおばあさんに、いつも水を漏らしてしまって申し訳ありませんと謝りました。するとおばあさんは、明日、水くみに行くときに通る道を見てごらんと言いました。次の日、ひび割れた水がめが、いつも水くみに通る道を見てみるとその道にたくさんの花が咲いていました。おばあさんはいつも通る道に、花の種をまいていたのです。そしておばあさんは、「水を漏らさない水がめは家で使う水をしっかりと運んでくれて、日々の暮らしを助けてくれる。あなた（ひび割れた水がめ）は、半分の水しか運べないが、道に花を咲かせてくれる。そして、あなたが咲かせた花は私の家をきれいに飾ってくれているんだよ」と言いました。

子どもたちは、それぞれにいいところがあります。人と自分を比べて、いばったり、悩んだりせず、それぞれの良さを生かして、協力して成長して行ってほしいと思います。そして、みんなが互いを認め合える宮地小学校にしてほしいと願っています。